



社内に技術を蓄積できなかつたことが課題に

今野製作所は、油圧製品の自社ブランド「イーグル」を手がける企業。主力商品である爪つきジャッキは、工場などでおなじみの存在だ。また、理化学関連機器や福祉機器の開発・製造、板金加工なども行っている。

同社は2016年、経済産業省の「攻めのIT経営中小企業百選2016」に選ばれたほどの注目企業だ。しかし、1990年代後半から2000年代にかけては危機に瀕したこともあったと、代表取締役の今野浩好氏は振り返る。

「創業者である父・好美は、顧客のニーズを的確につかみ、新たな事業を次々と手がけていきました。そして、1976年から販売を開始した油圧爪つきジャッキなどがヒット。業績は順調に伸びていたのです。

ただし、当社は深刻な課題を抱えていました。それが、『技術が社内に蓄積できていないこと』でした。

製造を外注化して人件費や設備費などを抑えることが、当時の基本方針。今風に言えば、ファブレス経営だったわけですね。利益率が高まるなどのメリットはありました

が、製造工程の大部分を外部企業に任せていたため、ものづくりの能力はなかなか伸びませんでした。そして、バブルがはじけてモノが売れない時代になると、技術力で他社と差別化できないことが、大きな弱点として浮かび上がってきたのです」（今野氏）

長く働いてもらえる環境作りに全力を尽くす

今野氏は大学卒業後、大手メーカーで生産管理業務を担当し、ビジネス力を磨いていた。そして1996年、立て直しを期待されて今野製作所に入社。

「若手を採用して育て、社内に技術を蓄積することが必要でした。ただ、当時は年々業績が下がっており、新人採用の余裕はなかったのです。また、社内のさまざまな仕組みも未整備でしたね。『荒れ地にいきなり新人という種をまいても、きっと枯れてしまう』と考え、まずは社内環境の整備に取りかかりました」（今野氏）

今野氏は、大阪営業所や福島工場と東京本社をつなぐネットワーク環境を構築。また、3DCADをはじめとす

る最先端機器や経理システムの導入など、業務効率を高める方策を矢継ぎ早に打った。さらに社員の働きやすさを追求し、本社のリニューアル工事や就業規則の整備も実施。こうして社員を受け入れる体制を十分に整え、2002年頃から採用を本格化した。

「当社は中小企業。待遇などの面では、大手にはかないません。ですから、採用面接では『大手の方がいい面もあるよ』とはっきり伝えます。ただ、若手にも大きな裁量を与え、やりたい仕事に挑戦できる環境があるのは、当社の大きな長所でしょう。例えば、2009年に発売した足の不自由な方が自動車を改造することなく運転できるようにする手動運転補助装置『SWORD』は、その象徴。若手主導で開発が進められ、製品化にこぎ着けました。今では、国内はもちろん、ASEAN諸国など海外にも輸出され役立っています」(今野氏)

子育てや介護中の社員をフルタイムの正社員と同じ基準で評価する「短時間正社員制度」を設けるなど、働きやすい環境作りへの努力は今も怠っていない。また、IT化や経営効率化によって労働時間を短くする取り組

みも重ねている。社員を大切に長く働き続けてもらい、貴重な技術やノウハウをできる限り社内に蓄積する。それが、今野氏の経営哲学なのだ。

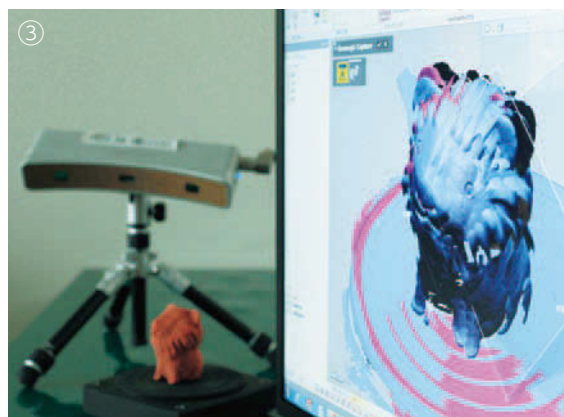
新たなものづくりサービス業の実現を目指す

同社は現在、設計・製造・営業部門から30歳前後のメンバーを集め、2、3人程度のプロジェクトチームを作って1つの製品を担当させる試みを行っている。

「若い世代のチームだけで、商品のコンセプトづくりから開発・製造、売価設定までやらせています。責任者となって1つのビジネスを進めることで、幅広い実力を磨かせることが狙いですね」(今野氏)

現在の目標は、「新たな『ものづくりサービス業』の業態を作ることだと、今野氏は語る。

「昔ながらのアナログな知恵や技術を残しつつ、最先端の技術と融合させる。そして自社だけでなく、近隣の企業や研究機関などと連携しながら、新たな『ものづくり力』を生み出す。そんな未来を実現してこの目で見ることが、私の願いなのです」(今野氏)



- ①ベテラン社員から若手への技術伝承は、重要な課題の一つ
- ②主力商品の油圧爪つきジャッキ。重い機械や精密機器の移動には欠かせない。防災・レスキューツールとしても認知度が高まっている
- ③3DCADを使い、理化学、工学、海洋開発、農業、福祉などの分野で、顧客のニーズに最適な器具・治具を提案・設計・製造している
- ④手動運転補助装置「SWORD」は自動車を改造しなくてよい



(2ページの写真)社内には大きなホワイトボードが設置。メンバー同士の、組織の枠を超えた議論などに役立てられている

職員から～取材を終えて～

第1回公社表彰 功労賞受賞企業である当社は、特に人材育成に関わる公社事業を広く利用されています。手動運転補助装置「SWORD」は「事業化チャレンジ道場」にて開発・事業化された製品で、若手主導で誕生した初めての本格的福祉機器。この成功体験を活かし、一昨年には新たな若手集団が「チャレンジ道場」の門を叩き、重量物運搬補助器「スマートドリー」を開発しました。今後も当社の若手社員の活躍に注目です。

(企画課 中野洋平)

株式会社今野製作所

(会社概要)

代表者：代表取締役 今野 浩好 氏

資本金：3020万円

従業員：36名(2017年9月現在)

所在地：足立区扇1-22-4

TEL：03-3890-3406 FAX：03-3856-1740

URL：<http://konno-s.co.jp/>